

COVID-19 勉強会

まとめ資料3



**Q3、総合医学雑誌“ビッグ5”的  
ひとつ The Lancet に掲載され  
た COVID-19 論文は世界に何  
を伝えたのか？**

**Q4、WHO の COVID-19 ポス  
ターの特徴は、日本の啓発ポス  
ターとどう違うのか？**

目次

- 1、The Lancet とは
- 2、COVID-19 論文は世界に何を伝えたか
- 3、WHO と日本の啓発ポスターの違いと理由

## 1、The Lancet とは

世界五大医学雑誌の一つ

世界五大医学雑誌とは、

『New England Journal of Medicine』 -

マサチューセッツ内科外科学会が発行(IF=79.260)

『The Lancet』 (IF=53.254)<sup>[7]</sup>

『JAMA (Journal of the American Medical Association)』 -

米国医師会が発行(IF=47.661)

『BMJ (British Medical Journal)』 - 英国医師会が発行(IF=23.562)

以上 4 種類を世界四大医学雑誌と呼ぶこともある。

『Annals of Internal Medicine』 - 米国内科学会が発行

これらはいずれも、19世紀から20世紀の初頭にかけて創刊された雑誌で、長い歴史を持つ。

※IF=インパクトファクターとは学術雑誌の影響度を評価する指標（引用の回数が増えるなどすると高くなる。）

The lancet、New English Journal of Medicine、JAMA では COVID-19 の特設ページを設けている

## 2、COVID-19 論文は世界に何を伝えたか

- The Lancet のような論文は、影響力もあり、信憑性も高い論文なら、情報を得るのに、有効
- それだけ影響力のある雑誌で、特設ページが開かれるほどコロナの現在の状況は深刻なものだということを伝えている
- 論文を書く立場にある専門家も、非常事態を訴えている
- 正しい情報が載っているから、COVID-19 に対する情報は、このような信頼できる論文から得たりし、デマやうわさに流されないでほしい

- 医療者じゃなくても、簡単にアクセスできるから、一般の方に見てほしい
- 医療者でなくても、正しく、より詳しい情報を獲得してほしい
- 医療者も研究段階であるので、情報共有をしたい
- とにかく、正確で、正しい可能性が高い情報に触れてほしい

### 3、WHO と日本の啓発ポスターの違いと理由

- WHO のポスターは一枚のポスターに情報量が少なく、余白も多いが、日本の厚労省の啓発ポスターは、文字が多く、情報量が多い
- WHO は stayathome の呼びかけだけでなく、それによって生じるストレスの改善方法も啓発している
- WHO はとにかくポスター数が多い
- 日本のポスターは QR コードが添付してあり、すぐに詳しい情報に飛ぶことができる
- WHO のポスターはイラストカラーを使っていて、一目でわかりやすいことが多い
- 日本の啓発ポスターは文字が多いので、じっくり読む必要はあるが、その分、得られる情報も多い
- 情報量の差は国民性？WHO のポスターはアメリカ人など、外国人の方が作っていると考えると、日本人は情報をたくさん盛り込みたい、無駄なく紙や画面を使いたいとおもうからかもしれない
- また、日本人の性格で、真面目さがでている？COVID-19 に関連するような文書は、きちんとした文章を用いるなど、したいと思うのかもしれない
- ターゲットとなる年齢の違いか
- SNS での発信をしているかどうか。WHO は Instagram などでも配信しているので、枚数が多くなっても見てもらいやすく、その分一枚の情報量が少なくなっている
- また、若者が見ることが多いので、イラストでかわいくしたり、情報量というよりは、受け入れてもらいやすさを重視しているのではないか